

2019年度 第5回 鈴鹿大学学術研究会

論題：「学校における食中毒」

【発表者メッセージ】

学校では給食や調理実習、その他行事等で食事をする機会がありますが、食べるという日常的な行為が原因で思いもよらない事故が発生することがあります。今回は学校給食等で生じた食中毒の事例報告と、食中毒防止のための衛生管理について発表します。発表はできる限り分かりやすく行いますので、皆様から貴重な意見をいただいて今後の研究や講義・実験に活かしたいと考えています。

発表者：櫻井 秀樹

鈴鹿大学短期大学部准教授。麻布大学獣医学部卒業後、琉球大学農学研究科修了。沖縄県中央食肉衛生検査所、宮古福祉保健所等を経て2007年4月より現職。専門は免疫学、食品衛生学。

討論者：梅原 頼子

鈴鹿大学短期大学部生活コミュニケーション学科教授/学科長。愛知教育大学教育学研究科修了。1988年4月より現職。専門は生活科学（食生活学）。担当科目は給食管理、応用栄養学。

討論者：古田 佳奈子

鈴鹿大学短期大学部生活コミュニケーション学科助手。鈴鹿大学短期大学部生活コミュニケーション学科食物栄養学専攻卒業。2019年4月より現職。担当科目は食品学実験、食品衛生学実験等の助手を務める。

日時：2019年12月18日（水）18:00－19:30

場所：鈴鹿大学 第2会議室

主催：鈴鹿大学大学院国際学研究科（座長：細井和彦教授/研究科長）

お問い合わせ：鈴鹿大学 TEL：059-372-2121（代表）

学生・市民の皆さん、どなたでも参加いただけます。（参加費無料、事前申し込み不要）